10 OCT.

広報あおば

創刊号
2021年10月15日発行
●発行：青葉台町会協議会
市原市青葉台2-24-9
●編集：広報委員会

広報あおば創刊号発行に寄せて

青葉台町会協議会 会長　吉成 正司

本年４月冒頭のご挨拶※では、39PJ（サンキュー・プロジェクト）活動の昨年度あたためた計画を実行する年と申し上げました。※「青葉台通信」第89号でのご挨拶

しかしながらコロナ感染は若年層にも拡大し、上期は緊急事態宣言下の取り組みとなってしまいました。その中でも、青葉大学との共催講演会の実施、ohanaいっぱい活動、空家・空地管理センターの開設準備活動など、39PJの活動が地域の人たちに見える形になってきました。さらに10月からは念願のホームページの公開、リニューアルした広報「あおば」創刊号の発行に伴い、地域の皆さんに39PJの活動状況をお伝えできることで、より求心的な活動になって来ることを期待しています。

青葉台39PJ（サンキュー・プロジェクト）ロゴマークが決定！

昨年度からスタートした39実行PJのロゴマークが協議会理事会で承認されました。ロゴマークには、プロジェクト名称、青葉台タウン、緑多い青葉台を表現した樹木のデザイン、そして内外にアピールするため「市原」を入れてあります。今後、事業やイベントの士気を高めるためポスター、Tシャツ、名刺、チラシ等に統一して使用します。

青葉台タウン
市原 青葉台39 プロジェクト

青葉台39PJとは？

39PJとは、「青葉台エリアに住む人たちが将来に渡って豊かで活気ある暮らしが続けられる街づくりを目指す」をテーマに、青葉台町会協議会が発起したプロジェクトです。2019年に行った青葉台の住民アンケート回収分約2000件をもとに検討課題を抽出するワークショップに参加した39名と青葉台に感謝（サンキュウ）の意を込めて決定した名称です。商店街の活性化や空家・空地対策など、現在6分野・11チームが活動しています。

【告知】「青葉台通信」は、第89号をもって終了し、新たに「広報あおば」として、サイズも一新してリニューアル創刊いたしました。2ヶ月に1回発行となり、皆さまにはより新鮮な情報をお届けしてまいります。ご期待ください。

「青葉台音頭」が決定！

イベント等の活性化を期し青葉台地域の人々の心を一つにするねらいとして青葉台音頭を公募しました。11曲の作品が寄せられ、姉崎高校、姉崎東中学校の吹奏楽部生徒の皆さんによる審査協力を経て、佐藤さん（1丁目）の作品が最優秀曲に決定。6月12日協議会・青葉大学共催講演会の場で表彰式が行われ、佐藤さんに最優秀賞の賞状、副賞が授与されました。

また、佳作の太田さん（2丁目）、小宮山さん（1丁目）もそれぞれ賞品が授与されました。

《青葉台音頭の歌詞》

佐藤 翔（作詞・作曲）
佐藤 双葉（歌）

①葎堰（むぐらぜき）　渡る鳥
街を彩る花や花
この街を　歩けば　皆仲間
青葉台で踊れば　トントン
そこらみんなで輪になりゃ　だんだん
青い若葉に　花が咲く
②丘の上から望む富士
希望あふれるこの里に
人の絆と福を呼ぶ
青葉台で踊らにゃ　ソンソン
となりのあの子と手を取りゃ　どんどん
青いやなぎも　花咲かす
③私もあなたもこの里に
生まれて育って　越してきて
この街　皆で作る　宝物
それ　きらりと　きらりと　咲く笑顔
ヒラリと　ヒラリと　舞う笑顔
みんなで踊ろう　青葉台音頭

▲青葉台音頭が視聴できます

空家・空地管理センター準備委員会活動

空家バンク登録案内大集会を予定

現状の空家調査の結果、名義変更された所有者の方は、管理センターができれば利用したい意向が伺えました。しかし、所有者が亡くなってから名義変更された所有者の特定は難しく、現在住んでいるときに登録する空家バンク制になります。それも、高齢になり要介護や認知症発症などの状態になる前に登録いただく必要があり、家庭内でも話し合っていただくことを訴求する集会を11月12月に行う予定です。
町会役員対象のミニ集会、青小、東中の体育館を利用した大集会を行い、12月から事務所を開設、受付を開始する予定です。（藪木）

▲管理センター設立に向け、活発な意見交換が行われる準備委員会の様子。

季節を彩るお花のある風景が広がっています

Ohanaいっぱい活動報告

この春から夏にかけて、1丁目から４丁目の街路樹下や公園等にきれいな花が植えられて皆さんの目を楽しませてくれているのにお気づきでしょう。それは町会の"ohanaいっぱい活動"の方たちの努力の結果です。"ohanaいっぱい活動"はこの４月に発足し様々な検討と多方面との交渉と試行錯誤とを経て、たった数か月で素晴らしい成果を上げつつあります。これから季節の移り変りとともに継続して花を咲かせ、景観を維持してゆくには、担当者の努力はもとより町民の皆様方の協力が欠かせません。どうかほんの少しでも興味と時間のある方は、この会の一助となっていただけないかと期待しています。（石原）

子供を預け易い場所づくり活動

『子育てしやすい街づくり』の子どもミライ会議に参加しました。

気軽に子供を預けられる安心の場、相談できる場をテーマに対象年齢、活動内容、人員体制、保険適用、ネットワーク、外部支援、広報活動など討議を重ねています。今月中には青葉台小学校ＰＴＡへのアンケートを回収、ニーズを把握して今後の活動を見通す。活動の場としては、ふれあいサロンや商店街空き店舗の活用を視野にいれているとのことです。実現には、色々な課題はありますが、熱意が伝わってくる貴重な会議でした。今後の展開が非常に楽しみで、期待がもてます。（柳澤）

▲ZOOMで開催された子どもミライ会議。6名の参加者により建設的な意見交換ができました（会議の様子がyou tubeで視聴できます）。

青葉台の情報を地域の内外へ発信

青葉台ホームページ開設！

広報委員会で地域向け情報発信サイトとしてコンテンツの作成を進めてきました。
39ＰＪの活動や行事を主体に情報発信する一方、各町会毎の情報も独自に町会内で利用できるように構成しています。閲覧画面はパソコン用、スマホ用に対応しています。また、紙媒体として青葉台通信に替わる「広報あおば」を２ケ月に１回発行し回覧致します。ホームページの作成にあたって、種々の関係先の皆さまから情報提供いただきましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。ホームページのアドレス（URL）は以下の通りです。（藪木）
https://inward.aoba39.com

▶「広報あおば」に関するご意見・ご要望がございましたら、メールにて気軽にお寄せください。メール：info@aoba39.com（広報委員会）